



西郷南洲公園が開園

西郷隆盛の命日に当たる9月24日、七城町西郷区に「西郷南洲公園」が開園しました。今年には明治維新150年という節目の年。今後、地域の観光文化交流拠点として期待されます。

「西郷南洲先生祖先発祥の地」の記念碑▶



一 西郷隆盛公の祖先発祥の地

平成22年に砂田地区の要望を受け、増永城址と一体的な公園づくりが計画されました。公園の名称は、西郷隆盛公の祖先発祥の地であるとの強い思いから「西郷南洲公園」と命名。芝生広場や徳富蘇峰の筆による「西郷南洲先生祖先発祥の地」の記念碑へアプローチする園路、大型バスも停められる駐車場、トイレが整備されました。

また、本市と友好都市の奄美大島の龍郷町から贈呈された寒緋桜が移植されています。西郷区の松岡政明区長は「この地が西郷隆盛と深いつながりがあることを広める機会となった。これからもっと、多くの人に興味を持ってもらえる交流の場になれば」と思いを語りました。公園の完成に尽力した古田直廣さん（西郷）は「完成は関係機関に協力をいただいたおかげ。そして、西郷区民が一致団結して作業を行ってきたから」と感謝の気持ちを語りました。

一 吾が源、菊池にあり

西郷隆盛は龍郷町で潜居生活を送っていた際、「菊池源吾」と名乗り、子ども達にも「菊」の字を付けました。自分が「菊池一族」の後裔であることを意識してのことといわれています。西郷家は菊池氏初代則隆の子・政隆が、七城町西郷区に居を構え、西郷太郎と称したことから始まります。西郷家26代の昌隆が元禄時代に鹿児島島の島津氏に仕え、鹿児島島に移住。その子孫が西郷隆盛で、初代西郷家から32代目にあたります。

「菊池源吾に学ぶ会」の園木洋二会長（間所）は「無私無欲を貫いた西郷の人物は現代も多くのの方に慕われている。西郷のルーツの地にぜひ足を運んで欲しい」と語りました。



西郷区に残る家系図



開園式に駆け付けた地区の子どもたちと松岡政明区長（後列④）、江頭美市長（後列⑤）

公園の開園にあたり、西郷隆盛の子・菊次郎のひ孫にあたる西郷隆文さんから「西郷家が菊池一族であるということと、西郷隆盛もこのことと大変な誇りを持って幕末維新を駆け抜け、日本史上稀にみる明治維新という大改革を成し遂げることができました。それも西郷の心の中にその菊池の血が脈々と流れているという誇りと自信があったからだと思います」と祝辞の言葉が届きました。

一 「西郷どん」で注目

NHK大河ドラマ「西郷どん」で西郷隆盛に注目が集まる中、隆盛のルーツが菊池市であり、しかも菊池一族の家系であるということは案外知られていません。意外にも身近なところで菊池と西郷隆盛はつながっているのです。

わいふ一番館では「西郷どん」と菊池一族 Ver.2 と題しての家族、その教え」と題して企画展を開催しています。隆盛が龍郷町で島役人に宛てた手紙のレプリカの展示や沖永良部で隆盛を支えた島役人土持政照の横顔などを紹介しています。

皆さんも公園に足を運んで「西郷どん」のルーツに想いを馳せてはいかがでしょうか。



開園式で自らとった記念碑の拓本を披露する地域おこし協力隊の岩本晃彦さん④